

## 第三期中期目標期間における業務実績の概要

※◆は重点的計画、◇は重点的計画でない項番。

## 県立大学

## 教 育

## ◆項番 1 新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」による教育の実施

- ・新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」を 2021 年度に設置、新設科目に重点を置いた評価を実施し、より教育効果の高い授業への改善を実施
- ・三菱みらい育成財団「21 世紀型教養教育プログラム」に採択され、3 年間の助成金を獲得（2021～2023 年度）
- ・「県大世界あいち学」として、2024 年度には全学部連携型授業を 4 科目、複数学部連携型授業を 4 科目開講し、学部 4 年間を通した教養教育カリキュラムを完成

【指標】（全学部連携型授業を 1 科目、複数学部連携型授業を 4 科目開講する。）

⇒2024 年度までに全学部連携型授業 4 科目、複数学部連携型授業 4 科目を開講

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅳ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ、2023:Ⅳ、2024:Ⅳ（自己評価））

## ◇項番 4 専門教育における効果的な教育カリキュラムへの見直し

- ・3 ポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）について、教育目標や理念、各学部のポリシーの整合性に留意し、新教養教育カリキュラムを含めた本学の特色や求める学生像を、高校生にもわかりやすい表現に修正
- ・外国語学部「多言語社会課程」、日本文化学部「世界へ発信する新カリキュラム」、教育福祉学部「愛知地域共生教育プログラム」、看護学部「シミュレーション教育」、情報科学部「企業連携型 PBL や長期インターンシップ」等、全学部でカリキュラムの見直しを実施

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ、2023:Ⅳ、2024:Ⅳ（自己評価））

## ◇項番 5 大学院教育におけるコース、カリキュラムの見直し

- ・国際文化研究科「コミュニティ通訳学コース」設置（2022 年 4 月）、人間発達学研究科「生涯発達研究所や自治体・教育委員会との連携」、看護学研究科「公衆衛生看護実践コース」設置（2021 年 4 月）、情報科学研究科「企業・団体等との連携体制を活用した長期インターンシップ」等、全研究科でカリキュラムの見直しを実施

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ、2023:Ⅳ、2024:Ⅳ（自己評価））

## 研 究

## ◆項番 18 学部・研究科横断型の学際的研究や、産業界・地域社会等との連携による高度で挑戦的な研究を積極的に推進

- ・学長特別研究費の「学部間連携・産学公連携研究」や「地域課題研究」を公募・採択し、学内の分野横断的共同研究、企業との連携、他大学や他研究機関との連携の他、公共機関との連携による地域課題解決につながる研究を推進

【指標】（学長特別教員研究費「複数学部にまたがる研究」または「共同研究(他学部・産学公)」を 1 件以上採択）  
⇒学長特別研究費における「複数学部にまたがる研究」または「共同研究(他学部・産学公)」を毎年度公募し、1 件以上の採択により地域課題解決につながる研究を推進

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅳ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ、2023:Ⅲ、2024:Ⅳ（自己評価））

## ◆項番 19 外部資金の獲得に向けた取組の推進

- ・大学全体の特色ある研究活動の推進・発信を強化するため、「研究推進局」を中心とした新たな研究推進体制を構築し、産学公連携や国際的な研究の推進や、外部資金による研究活動を基本とした運営を開始

【指標】（研究に係る外部資金の採択・受入件数を、第二期最終年度から 10%以上増加（215 件以上））  
⇒2024 年度実績：187 件（第二期最終年度（2018 年度実績：195 件）より 4.1%減少）

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ、2023:Ⅲ、2024:Ⅲ（自己評価））

## 地域連携・貢献

## ◆項番 22 県等との意見交換会を通して、地域課題への対応に向けた取組の推進

- ・愛知県の関連部署との意見交換会を開催して課題を共有し、締結した協定等に基づく地域貢献活動を毎年度実施
- ・近隣市町村との連携事業や地域貢献活動について、地域課題の共有と県内外の自治体、企業等との連携による課題解決の取組を継続して実施

【指標】（愛知県の関連部署との意見交換会を 1 回以上、県との共催事業・貢献活動を 1 件以上）  
⇒愛知県関連部署との意見交換会を毎年度 1 回以上実施するとともに、共催事業・貢献活動を 1 件以上新たに実施したうえ、継続して実施する体制を構築

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅳ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ、2023:Ⅳ、2024:Ⅳ（自己評価））

## その他

## ◆項番 28 外国語学部以外の単位認定を伴う海外留学の促進

- ・全学部の学生を対象とする教養教育科目「教養外国語ショートプログラム」や外国語学部以外で進める他大学との学部間交流プログラムを教養特別科目「教養留学修得科目」において、単位認定を伴う海外留学プログラムを実施

【指標】（在学中に単位認定を伴う留学を経験した外国語学部以外の学生数を 2 倍（78 名）以上）  
⇒外国語学部以外の単位認定を伴う留学者（2024 年度実績）：58 名（2018 年度：39 名）

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ、2023:Ⅲ、2024:Ⅲ（自己評価））

# 第三期中期目標期間における業務実績の概要

※◆は重点的計画、◇は重点的計画でない項番。

## 芸 術 大 学

### 教 育

#### ◆項番 30 実技力と芸術性をもつ人材の育成に向けた魅力ある学部教育の推進

- ・アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による特別講座等を毎年度継続的に実施、多様なアーティストを招聘し魅力ある学部教育を推進
- ・美術分野、音楽分野の領域を超えた授業科目の連携を推進し、第四期中期目標期間におけるさらなる拡充も見据え県立大学との連携も開始

【指標】（アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による事業を毎年4件以上実施）

⇒2019：8件、2020：2件、2021：6件、2022：7件、2023：6件、2024：7件

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ、2023：Ⅳ、2024：Ⅳ（自己評価））

#### ◆項番 33 特色ある教育研究の展開に向けた専攻・カリキュラムの見直し

- ・2022年度にメディア映像専攻を開設したほか、2026年度の大学院設置に向け準備を推進

【指標】（2022年度に美術学部の専攻・領域を見直し、新たにメディア映像専攻を開設）

⇒予定通り、2022年度にメディア映像専攻を開設

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅲ、2023：Ⅲ、2024：Ⅲ（自己評価））

#### ◆項番 36 学生の将来目標・設計を啓発し、専門を生かせるキャリア支援を推進

- ・内定者との座談会など多様な就職支援を企画したほか、確定申告セミナーなどアーティスト志望の学生のニーズにもあわせたキャリアサポートガイダンスを検討、実施
- ・卒業生・修了生の芸術活動を支援するため、情報発信や受託事業への協力依頼等を実施

【指標】（キャリアサポートガイダンスを毎年25件以上実施）

⇒2019：27件、2020：8件、2021：28件、2022：29件、2023：45件、2024：53件

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ、2023：Ⅳ、2024：Ⅳ（自己評価））

### 研 究

#### ◆項番 39 教員の芸術活動・研究の推進とその成果の地域還元

- ・毎年度、教員による展覧会・演奏会などの芸術活動を積極的に実施
- ・美術分野においては、毎年度教員展を実施したほか、文化財保存修復研究所において、高度な技術力を要する文化財の保存修復作業を受託
- ・音楽分野においては、東日本大震災のチャリティーコンサートや、室内楽の響演シリーズなど、教員による演奏会を定期的に開催

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅳ、2020:Ⅳ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ、2023：Ⅳ、2024：Ⅳ（自己評価））

#### ◆項番 40 研究支援体制の整備、企業等との連携強化、外部資金の獲得増に向けた取組

- ・研究にかかる各方針等の制定、改正を実施、研究活動の更なる推進を促す環境を整備
- ・特色・魅力ある研究の推進に向け、企業、研究機関など外部機関との連携、共同研究を実施

【指標】（科学研究費及びその他の助成金を毎年20件以上申請）

⇒2019：28件、2020：30件、2021：23件、2022：31件、2023：32件、2024：29件

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅳ、2023：Ⅳ、2024：Ⅳ（自己評価））

### 地域連携・貢献

#### ◇項番 41 愛知県や他機関等との連携推進及び県民が芸術に親しむ機会の創出

- ・国際芸術祭等の愛知県の文化芸術振興施策や、愛知県の障害者芸術への取組に毎年協力
- ・名古屋工業大学と「アートフルキャンパス構想」を共創し、作品の設置、芸術体験ワークショップの開催、共創交流、アーティスト・イン・レジデンス、展覧会等を実施
- ・ナゴヤイノベーターズガレージと連携し、ナゴヤイノベーターズガレージ賞を創設
- ・子供向け体験企画「こども愛知芸大」の開催等、県民が芸術に親しむ機会を創出

自己評価：Ⅳ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ、2023：Ⅳ、2024：Ⅳ（自己評価））

#### ◆項番 43 栄サテライトギャラリーの開設・活用推進

- ・芸術講座等多様な企画を実施したほか、各展覧会の期間を長く設け鑑賞機会を十分に確保
- ・厳しい社会情勢が続くなか、卒業生など若手作家の芸術活動を支援する場として活用推進
- ・ワークショップやギャラリートーク等を通して、作家と来場者の交流の場を創出し高評価

【指標】（栄サテライトギャラリー入場者数を第三期最終年度に5,000人以上とする）

⇒2019：2,215人、2020：1,699人、2021：2,541人、2022：2,526人、2023：2,287人、2024：1,828人

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ、2023：Ⅲ、2024：Ⅲ（自己評価））

### その他

#### ◆項番 45 大学 Web サイトなど情報発信ツールの充実、芸大のブランド・知名度向上

- ・地形劇場の観覧席整備のためクラウドファンディングを実施、目標金額を上回って達成
- ・大学 Web サイトを全面リニューアル、「在学生の声」等コンテンツを年々拡充し広報を推進
- ・学長トップマネジメントによる全学的な企画を展開し、その取り組みをメディアへ発信

【指標】（大学 Web サイト・SNS のアクセス数を第三期最終年度に150万件以上とする）

⇒2019：109万件、2020：158万件、2021：161万件、2022：127万件、2023：135万件、2024：118万件

自己評価：Ⅲ（2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ、2023：Ⅲ、2024：Ⅲ（自己評価））

第三期中期目標期間における業務実績の概要

法人運営

自己評価結果の概要

法人・大学運営

※◆は重点的計画の項番。

◆項番 46 法人・大学の運営体制の充実と効果的・効率的な法人・大学運営の推進

- ・理事長、学長等が財務状況の見通しや経営上の課題に共通の認識を持ち、法人・大学経営にリーダーシップが発揮できるよう、常勤役員連絡会議を定期的開催
- ・コロナ禍において、コロナ対策本部会議を定期に開催し、経済的に困窮する学生への支援策やワクチンの職域接種の実施等を早急に決定、実施

【指標】(第三期最終年度までに理事長・学長によるトップマネジメント事業費を業務費総額の1%以上確保)  
⇒2021 2022、2024 及び 2025 年度予算において業務費総額の1%以上確保を達成

自己評価：Ⅲ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅳ、2022:Ⅲ、2023：Ⅲ、2024：Ⅲ (自己評価))

◆項番 48 様々な連携による大学の魅力づくりの推進

- ・教養教育に係るワーキンググループを立ち上げ、2大学が連携した教養教育科目の開講を決定
- ・2大学で連携し、ジブリパーク開園に合わせてリニモ沿線8施設紹介動画を制作、公開
- ・愛知県と連携しスタートアップ国際シンポジウム、A-A-A スタートアップシンポジウム等を開催

【指標】(2大学連携事業を検討・推進するための会議を毎年2回以上開催)  
⇒開催数：2019 年度：3 回、2020 年度：2 回、2021 年度：2 回、2022 年度：2 回、2023 年度：2 回、2024 年度：7 回

自己評価：Ⅳ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅳ、2023：Ⅳ、2024：Ⅳ (自己評価))

人材の確保・育成

◆項番 52 大学を支える事務職員の育成

- ・他機関（愛知県、名古屋大学、文部科学省、公立大学協会）への職員派遣を推進
  - ・職員のスキル向上のため、新たに語学研修の実施及び各種研修等への補助制度を開始
- 【指標】(第三期最終年度までに海外派遣及び他機関への派遣研修に従事した法人固有職員の割合を30%以上にする)  
⇒2024 年度末現在の割合：21.8%(職員現員数のうち、派遣研修経験者（退職者を除く）の割合)

自己評価：Ⅲ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ、2023:Ⅲ、2024:Ⅲ (自己評価))

その他

◆項番 59 良好で安全・安心な教育研究環境の維持と情報基盤ネットワークの強化

- ・2021 年度に情報基盤ネットワークシステム（AIRIS）を更改し ICT 環境を整備
- ・法人所有施設の長寿命化改修対象施設のうち長久手キャンパス体育館を 2024 年度に改修

自己評価：Ⅲ (2019:Ⅲ、2020:Ⅲ、2021:Ⅲ、2022:Ⅲ、2023:Ⅲ、2024:Ⅲ (自己評価))

第三期中期目標期間実施項目			
I 実施していない	II 十分には実施していない	III 十分に実施している	IV 上回って実施している
未着手	着手はしたが 目標に到達していない	目標を達成している	目標を上回って 実施している
0 項目	0 項目	51 項目 (15 項目)	11 項目 (8 項目)
0 項目	0 項目	66 項目	19 項目
0%	0%	77.6%	22.4%

※1 ( )内は重点的計画数

※2 重点的計画考慮後の合計

中期計画の大項目・中項目	項目数	I	II	III	IV
1 教育研究等の質の向上	45 (19)	0	0	35 (12)	10 (7)
(1) 県大	29 (9)	0	0	24 (6)	5 (3)
1-1 教育	17 (3)	0	0	14 (2)	3 (1)
1-2 研究	4 (2)	0	0	3 (1)	1 (1)
1-3 地域連携・貢献	4 (2)	0	0	3 (1)	1 (1)
1-4 その他	4 (2)	0	0	4 (2)	0
(2) 芸大	16 (10)	0	0	11 (6)	5 (4)
1-1 教育	9 (5)	0	0	7 (3)	2 (2)
1-2 研究	2 (2)	0	0	0	2 (2)
1-3 地域連携・貢献	3 (2)	0	0	2 (2)	1 (0)
1-4 その他	2 (1)	0	0	2 (1)	0
2 業務運営の改善	9 (3)	0	0	8 (2)	1 (1)
3 財務内容の改善	2 (0)	0	0	2 (0)	0
4 自己点検・評価及び情報の提供	2 (0)	0	0	2 (0)	0
5 その他業務運営	4 (1)	0	0	4 (1)	0
合 計	62 (23)	0	0	51 (15)	11 (8)
重点的計画考慮後の合計	85	0	0	66	19

※( )内は重点的計画数